

⑫ 円空作仏像群 狛犬

(県指定重要文化財 洞戸高賀)



円空作 狛犬(云) 高賀神社蔵



一木作 高賀神社蔵



円空作 狛犬(阿) 高賀神社蔵

関の文化財探訪

その7

関の「文化財」を紹介します。

★ ⑫

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

山岳信仰の場として知られる高賀山に鎮座する高賀神社には、平安時代から室町時代までの仏像、神像、懸仏など多くの文化財が残されています。さらに、江戸時代前期の行脚僧で全国をまわり、生涯に12万體もの仏像を彫ったと伝えられている円空(1632～1695)もこの高賀神社に何度か訪れ、多くの仏像を残しています。

十一面観音菩薩立像(高さ221.2cm)と善女龍王立像(高さ175.6cm)、善財童子立像(高さ174.6cm)の3体(中央の写真)は1本の針葉樹の丸太を割って造られています。3体の仏像を重ねると現在でも1本の木に復元できます。円空仏の最高傑作の1つといえます。

その他に、高さが約95cmもある1対の狛犬(左右の写真)、虚空蔵菩薩立像、聖観音菩薩立像などがあり、17軀の仏像と3対の狛犬が岐阜県重要文化財に指定されています。

【利用案内】 関市洞戸円空記念館

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料 一般200円、小人無料

【アクセス】 国道256号線から高賀方面へ約2km 洞戸地域巡回バス「高賀神水庵前」下車、徒歩約40分